

まちづくり交付金 事後評価シート
大宮駅及びさいたま新都心周辺地区

平成20年12月

埼玉県さいたま市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	さいたま市	地区名	大宮駅及びさいたま新都心周辺地区			面積	160ha				
交付期間	平成16年度～平成20年度	事後評価実施時期	平成20年度	交付対象事業費	1,029百万円	国費率	39.9%						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名											
		基幹事業	道路(中山道、新都心南通り線)、地域生活基盤施設(氷川参道一の鳥居広場)、高質空間形成施設(氷川参道道路改良工事)										
	提案事業	事業活用調査(地域戦略プラン策定、大宮駅西口第四地区総合基本設計)、まちづくり活動推進事業(社会実験)											
	当初計画から削除した事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		基幹事業	道路(大宮中央線)	地権者との調整が難航し、事業認可の目的がたつたため事業中止			関連する指標(賑わいの創出 市民満足度)を削除した。						
			高次都市施設(大宮駅西口駅前デッキ改善事業)	関係機関との調整が難航したため事業中止			関連する指標(賑わいの創出 市民満足度)を削除した。						
		提案事業	地域創造支援事業(氷川横丁計画策定)	大宮駅東口都市再生プランとして、都市拠点および都市軸の一体的な整備を予定しており、横丁計画の見直しが必要になったため取りやめ			影響なし						
			地域創造支援事業(氷川参道沿線建築デザイン計画策定)	沿道建築デザインについては、より現実的な検討をするために、氷川参道の歩歩分離整備が全区間で完了した後で行うため取りやめ			影響なし						
	まちづくり活動推進事業(中山道景観形成ガイドライン)		「まちづくり方策検討」の中で、包括的に検討することとなったため、取りやめ			影響なし							
	新たに追加した事業	基幹事業											
提案事業													
交付期間の変更	当初	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	安全で快適なネットワークの構築(渋滞差点の箇所数)	箇所	3	H11	2	H20	-	0		あり なし	大宮駅周辺の道路ネットワークの改善が図られ、その成果があったといえる。	-
	指標2	駅周辺地域の活性化(大宮駅及びさいたま新都心駅の乗降客数)	人/日	493,540	H13	500,000	H20	543,692	571,839		あり なし	道路ネットワークの改善による駅へのアクセス性向上や、駅中や駅周辺での商店街での賑わいづくりにより、乗降客数が増加したと考えられる。	平成21年4月
	指標3	市民のまちづくりへの期待度(地域活動への参加比率)	%	33.7	H13	40.0	H20	29.7	29.4	x	あり なし	社会実験等をきっかけとして、多方面への波及を想定していたが、5年間で設定どおりの成果をあげることはできなかった。	平成21年12月
	指標4	ヒューマンスケールの回遊性(氷川参道の自転車交通量)	台	1,580	H14	1,800	H20	2,011	2,048		あり なし なし	氷川参道道路改良工事により、自転車利用者への利便性向上が図られた。	平成21年4月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	ボランティア団体、市民活動団体、NPO団体による地域活動への参加意向	%	51.7	H13			65.8	66.9		あり なし	銀座通り社会実験の実施や氷川参道周辺のまちづくり活動組織の活性化等が参加意向の向上につながった。	平成21年12月
	その他の数値指標2	駅周辺地域の活性化(さいたま新都心周辺地区の定着人口)	人	25,626	H16			-	29,800		あり なし	都市基盤整備や駅周辺の商店街の活性化などにより、居住地区としての魅力度が向上した。	平成21年4月
その他の数値指標3										あり なし			
4)定性的な効果発現状況	氷川参道の整備、銀座通りの社会実験、中山道の歩道整備等により、中心市街地を歩いて利用するという市民意識が高まりつつあると考える。さらに、渋滞緩和が図られたことにより、環境にやさしい市街地環境が形成されつつある。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況					今後の対応方針等				
	モニタリング	目標に向けての効果や、事業プログラムの客観性を高めるために、区民会議等を活用したモニタリングに努め、情報の共有化を進める。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					地元住民や関係団体等との意見交換の場から、地区のまちづくりに関する意見を収集する。				
	住民参加プロセス	大宮駅東口銀座通り社会実験における住民や地域団体等の参加		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					実験結果を踏まえ、銀座通りの現段階でできる歩行者優先のみちづくりを行う。 地区の課題(駐輪対策等)を今後の地元まちづくり活動に活かす、その活動を市は支援していく。				
	持続的なまちづくり体制の構築	氷川神社参道周辺のまちづくり活動組織の活性化 さいたま新都心におけるまちづくりボランティア組織の構築		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					まちづくり団体と協働により参道の歩行者専用化を推進する。 また、ボランティア、行政、開発者が各々の立場から、まちの活性化に取り組めるよう、今後も活動を支援していく。				

様式2 - 2 地区の概要

大宮駅及びさいたま新都心周辺地区(埼玉県さいたま市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大宮駅周辺地区における賑わいの再生とさいたま新都心地区との連携強化による一体的な都市拠点の整備 目標1 大宮駅周辺における、交通機能の改善と賑わい 目標2 市民と連携した、氷川参道をはじめとする都心における貴重な自然・歴史・文化的資源の保全とまちづくり(賑わい再生と回遊ネットワーク化に自然・歴史・文化の保全・活用を図る)	安全で快適なネットワークの構築(渋滞交差点の箇所数)	単位:箇所 3 H11	2 H20	0 H20
	駅周辺地域の活性化(大宮駅及びさいたま新都心駅の乗降客数)	単位:人/日 493,540 H13	500,000 H20	571,839 H20
	市民のまちづくりへの期待度(地域活動への参加比率)	単位:% 33.7 H13	40.0 H20	29.4 H20
	ヒューマンスケールの回遊性(氷川参道の自転車交通量)	単位:台 1,580 H14	1,800 H20	2,048 H20

社会実験が実施された銀座通り商店街

区画整理事業地の現状

施工中の中山道

大宮区

提案事業(まちづくり活動推進事業) 大宮駅周辺社会実験 (商業機能の拡充)

基幹事業(高質空間形成施設) 氷川参道道路改良工事 W=6m,L=630m [緑と歴史空間の形成]

基幹事業(地域生活基盤施設) 氷川参道一の鳥居広場整備 A=280㎡ [緑と歴史空間の形成]

提案事業(事業活用調査) まちづくり方策検討 全域

基幹事業(道路) 中山道 W=16m,L=485m [交通体系の強化]

基幹事業(道路) 新都市南通り線 W=25m,L=380m [交通体系の強化]

整備された氷川参道

整備された一の鳥居広場

整備後の新都市南通り

N

0 200 1000m

まちの課題の変化

- 氷川緑道西通線等の整備による安全で快適な歩行者ネットワーク形成や、大宮駅東口周辺における魅力的な街並み形成等を進める必要がある。
- 大宮駅西口駅前デッキの改善に関して、引き続き関係機関の調整を行いつつ、バリアフリー化の徹底やユニバーサルデザインを考慮した施設改善を推進する必要がある。
- さいたま新都心周辺にある民有低未利用地における有効活用を促進する必要がある。
- 大宮駅周辺の魅力的な街並み形成を進めるとともに、大宮駅東口と新都心とを結ぶ歩行者ネットワークに欠かせない氷川参道の歩専化を推進する必要がある。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- まちづくりボランティア組織をはじめ、市民等との連携により、当該地区内の課題の再確認とその解決に向けた方策の検討を行う。
- 整備した道路に関して、安全性、快適性を維持できるよう管理を行うとともに、沿道の魅力的なまちづくりを進める。
- 道路整備や土地区画整理事業の実施に伴い、今後、良好な街並み形成等を進めるため、地権者等と一体となり、適切なルールづくりを進める。
- 氷川緑道西通線の整備、氷川参道の歩専化を進め、駅周辺での魅力的な街並み、賑わいづくりに向けた安全で快適な歩行者ネットワーク形成を進める。

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
大宮駅及びさいたま新都心周辺地区

平成22年3月

埼玉県さいたま市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	安全で快適なネットワークの構築(渋滞交差点の箇所数)	箇所	3	2	0	確定 見込み		あり なし				改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	大宮駅周辺の道路ネットワークの改善が図られ、その成果があったといえる。	
指標2	駅周辺地域の活性化(大宮駅及びさいたま新都心駅の乗降客数)	人/日	493,540	500,000	571,839	確定 見込み		あり なし	558,162	H21年4月		さいたま新都心駅での乗降客が推計値ほど増加しなかった。	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	道路ネットワークの改善による駅へのアクセス性向上や、駅中や駅周辺での商店街での賑わいづくりにより、乗降客数が増加したと考えられる。
指標3	市民のまちづくりへの期待度(地域活動への参加比率)	%	33.7	40.0	29.4	確定 見込み	x	あり なし	26.7	H21年12月	x	昨今の社会情勢のもと、地域活動への参加時間確保や心のゆとりがなくなっている。	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	社会実験等をきっかけとして、まちづくりへの参加意欲は向上したが、地域活動への参加行動にまではつながらなかった。
指標4	ヒューマンスケールの回遊性(氷川参道の自転車交通量)	台	1,580	1,800	2,048	確定 見込み		あり なし	1,946	H21年4月		推計値ほどではないが、着実に自転車利用者が増加している。	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	氷川参道道路改良工事により、自転車利用者への利便性向上が図られた。
						確定 見込み		あり なし					改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	ボランティア団体、市民活動団体、NPO団体による地域活動への参加意欲	%	51.7	/	66.9	確定 見込み	/	/	58.9	H21年12月	/	推計値ほどではないが、地域活動への参加意欲が増加している。	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	銀座通り社会実験の実施や氷川参道周辺のまちづくり活動組織の活性化等が参加意欲の向上につながった。
その他の数値指標2	駅周辺地域の活性化(さいたま新都心周辺地区の定着人口)	人	25,626	/	29,800	確定 見込み	/	/	30,064	H21年4月	/	駅前の生活利便施設の立地など推計を上回る増加率を示している	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	都市基盤整備や駅周辺の商店街の活性化などにより、居住地区としての魅力度が向上した。
				/		確定 見込み	/	/			/		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	市民等と連携したまちづくりの推進	大宮駅周辺地域戦略ビジョンに係る意見交換会や中間発表会の開催。	H20、H21の2年度で大宮駅周辺地域戦略ビジョンを策定する。	官民一体となったまちづくりの推進。
	道路環境の維持管理	氷川参道の歩専化の整備を行った。	氷川参道道路改良工事(250m)	氷川参道のケヤキ並木道を保全しながら、沿道での緑化を推進。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	良好な街並み景観の形成			
	安全で快適な歩行者ネットワークの充実	氷川緑道西通線について、事業認可を得て整備に着手した。	氷川緑道西通線の事業認可(H20～H26)	氷川緑道西通線について、都市再生総合整備事業の円滑な活用を図る。

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(精算報告)

おおみやえきおよ
大宮駅及びさいたま

しんとしんしゅうへん
新都心周辺地区

さいたま
埼玉県

し
さいたま市

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	埼玉県	市町村名	さいたま市	地区名	大宮駅及びさいたま新都心周辺地区	面積	160 ha
計画期間	平成 16 年度	～	平成 20 年度	交付期間	平成 16 年度	～	平成 20 年度

目標

大宮駅周辺地区における賑わいの再生とさいたま新都心地区との連携強化による一体的な都市拠点の整備

目標1 大宮駅周辺における、交通機能の改善と賑わい

目標2 市民と連携した、氷川参道をはじめとする都心における貴重な自然・歴史・文化的資源の保全とまちづくり(賑わい再生と回遊ネットワーク化に自然・歴史・文化の保全・活用を図る)

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

当地区は、首都圏の北の玄関口「大宮駅」と、国鉄操車場跡地の土地利用転換により誕生した「さいたま新都心駅」の周辺で形成されている。

大宮駅は、古くから鉄道のまちとして発展し、現在では東北新幹線を筆頭に5方面の新幹線とJR在来線、私鉄線を含め12路線が乗り入れる国内屈指の鉄道ターミナルとなっている。駅周辺には商業・業務機能が多く集積し、交通結節点としての地勢上の特色を活かしたまちづくりを進めている。また、さいたま新都心駅周辺では、官公庁施設の移転や大規模集客施設の立地などが進んでいる。

両駅周辺のまちづくりの経緯は全く異なるものではあるが、三市合併から政令市へ移行し政令指定都市に相応しい風格ある都市づくりを進めていく上で、両地区の広域的な交通結節点としてのポテンシャルや、近接した街なみの連続性、大宮駅周辺の商業・業務機能等とさいたま新都心駅周辺の行政機能の連携の強化を図ることは、本市の都心地区の再生を進めていく意味で非常に重要である。

また、大宮駅東口では、懸案となっていた市街地再開発事業が中止となり、改めて駅前の都市再生を行うべく都市再生プランを策定し、新たなまちづくりを進めることにしている。一方で、両地区を結ぶ氷川参道は、既成市街地の貴重な自然・歴史的資産をもった緑の回廊として市民の愛着を集めており、地域の自治会長や住民等が参集し、平成7年度から「氷川の杜うらおいのあるまちづくり推進協議会」が発足し、過去にパネルディスカッション1回(H8)、シンポジウム2回(H11、H13)、交通社会実験(H14)、氷川参道の樹木調査等を市民自らの手で行うなど、市民団体による保全やまちづくりへの活用などの動きも起きていることもあり、これらの流れを包括的なまちづくりへと結び付けていくことが必要であるといえる。

課題

大宮駅東口では、脆弱な道路状況による慢性的な交通渋滞や、新都心との連携不足が指摘されている。また、交通要所であるが故に開発圧力が強く、無秩序な街なみ形成が懸念されている。

大宮駅西口では、駅前に集中する歩行者等を処理するペDESTリアンデッキが老朽化し、バリアフリー、ユニバーサルデザインの視点からも改修が必要である。(平成12年休日8時間歩行者交通量202千人)

さいたま新都心周辺地区では、民間オフィスビルやショッピングモールなどの整備が進められているが、道路が未整備な部分もあり、歩行者の通行が危険になっている箇所がある。新都心へのアクセス道路の整備と民間所有地の適正な土地利用誘導が課題である。

来街者や周辺住民のアンケート調査によると、賑わいが不足しているとの指摘が多い。開発されたものの無機質な都市空間が形成されるといった恐れもあり、大宮駅周辺地区とさいたま新都心地区とのリンケージが市街地活性化の鍵となっている。

将来ビジョン(中長期)

さいたま市総合振興計画基本計画(平成16年2月)

本市の将来都市像として、

多彩な都市活動が展開される東日本の交流拠点都市

見沼の緑と荒川の水に象徴される環境共生都市

若い力の育つゆとりある生活文化都市

を目標としている。本市の都心の1つである大宮駅周辺地区では、広域的な商業・業務機能や交流機能を、また、さいたま新都心周辺地区では、広域行政機能、業務機能、文化機能、交流機能などの機能集積を進めるとともに、両地区の連携を推進し、一体的な都心形成を図っていく。

また、中心市街地においては、都心間の連携の強化、高次都市機能の集積を誘導し、新たな産業の振興、多様な人々の交流の活性化を図る拠点づくりを推進する。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
1. 安全で快適なネットワークの構築	箇所	渋滞交差点の箇所(道路センサス)	大宮駅周辺とさいたま新都心地区のネットワーク強化	3箇所	平成11年度	2箇所	平成20年度
2. 駅周辺地域の活性化	人/日	大宮駅及びさいたま新都心駅の乗降客数	大宮駅東口の都市再生と新都心の活性化を測る	493,540	平成13年度	500,000	平成20年度
3. 市民のまちづくりへの期待度	%	地域活動への参加比率(市民意識調査)	市民が自主的にまちづくり活動に参加する数を把握することで、まちづくりへの関心度を測る。	33.7	平成13年度	40	平成20年度
4. ヒューマンスケールの回遊性	台/12時間	氷川参道の自転車交通量(12時間)	回遊性強化を参道の自転車交通量で測る	1,580	平成14年度	1,800	平成20年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・政令市の都心地区に相応しい商業機能の拡充及び風格あるまちの顔づくり 大宮駅周辺の再生を目指すことでシンボル軸としての機能強化を図るとともに、社会実験を通して、周辺交通の改善と歩いて楽しい歩行空間整備を図る。また、ユニバーサルデザインに配慮し、人に優しいパブリック空間の整備を図るとともに、大宮駅西口第四地区ではまちの賑わい創出に向けたインフラ整備のグレードや街並み景観、都市空間の整備イメージについて検討する。</p>	<p>提案事業(大宮駅周辺社会実験、大宮駅西口第四地区総合基本設計) 関連事業(大宮駅西口第四地区区画整理事業)</p>
<p>・都市計画道路の整備や歩行者空間の拡充による都心地区として一体性を図る交通体系の強化 さいたま新都心と大宮駅及び周辺地域等を結ぶ骨格的な都市計画道路の整備を進め、都心地区としての連携強化とネットワーク化を図る。 歴史的な街道である中山道の景観に配慮し電線類の地中化・歩車道の分離、氷川参道の再生などにより歩行者ネットワークを構築し、地域全体の回遊性を高める。</p>	<p>街路事業(中山道、新都市南通り線) 高質空間形成施設(氷川参道道路改良工事)</p>
<p>・地域資源を活用した緑と歴史空間の形成 氷川参道を地域の歴史と文化のシンボルとして継承していくために、市民と共同で交通規制についての社会実験を行い、第一段階として一方通行とし、将来的な歩行者専用道路化に向けた計画を策定し整備をする。</p>	<p>地域生活基盤施設(氷川参道一の鳥居広場整備) 高質空間形成施設(氷川参道道路改良工事)</p>
<p>その他</p> <p>事業終了後の継続的なまちづくり活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「氷川の杜うるおいのあるまちづくり推進協議会」 参道周辺でのイベント、維持管理、清掃活動などを継続的に実施できる、地域と一体化したまちづくりを目指す。 ・「さいたま新都心まちづくりボランティア」 地域住民の自発的なまちづくり活動を人的サポートなどで促すことで維持管理、街の案内、イベントの実施などを促すことで、ソフト面から地域と一体化したまちづくりを目指す。 <p>街並み形成の誘導を図るための方策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さいたま新都心地区区内での建築デザインコードを周辺に波及させていくために、景観形成ガイドラインについて検討を行う。 <p>交付期間中の計画の管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付期間中における各種事業をコントロールするために、市庁内に横断的な組織を設置する。 ・目標に向けての効果や、上記事業プログラムの客観性を高めるために、区民会議等を活用したモニタリングに努め、情報の共有化を進める。 	

